



# 市行政評価外部評価委員会 制度は期待できるか

坂田 容子 議員

**問** 行政改革の進捗状況を市民の視点で客観的に検証、点検、改善するために導入された外部評価委員会はどのようになっているか。

**市長** 筑後市が周辺の自治体に先駆けてやっている。内部だけの評価でなく、新しい発想の中で外部評価制度というものを進め、協働のまちづくりのためこれを成功させていきたいと思う。

**総務課長** 市が行った施策等の評価の成果の現状値分析。現在行っている内部評価の精度を上げ、各種の行

政施策の質の向上につなげていきたい。

## 出前市長室をもっと充実したもの

**問** 協働のまちづくりには市民と行政の信頼関係、情報共有は欠かせない。今までの成果、今後のあり方、進め方をどうするか。

**市長公室長** 着実に市民の行政への関心が高まっている。今後は簡単、簡素に説明して、意見交換の時間をとりたい。また、市民団体との懇談会として市長談話室を開催しているのでそこらも利用して欲しい。

## サンコア周辺花壇を花いっぱい



サンコア周辺の花壇

**問** 勤労者家庭支援施設(サンコア)周辺の四季折々に咲く花は訪れる人に眺める楽しみ、癒し等様々な効果を生んでいると思えるのに花が寂しくなっているのはどうしてか。

**中央公民館事務長** 行政評価の事務事業評価によりサンコアの花づくりについて、ボランティアに委ねるか、廃止することで検討された。結果として、現在は中央公民館長と、別に一人の方がボランティアで協力してもらっている。今後ボランティアの数を増やし、もっと多くの花でサンコアの花壇を華やかにしていきたい。

# 公共事業本来の狙いはどこにある

田中 親彦 議員

## まちづくりにも企業の参加を

**問** 一般競争入札制度の導入は、ただ単に談合防止かそれに伴う価格競争化か、またまた業界淘汰にあるか。

**市長** 地場産業育成は当然行政の責任と任務。そこに重点を置くことと談合の温床につながる。大変難しい。

**副市長** 一般競争入札は、公平で競争性が高く、談合などの不正が起きにくいことを目的として今年から施行した。

**問** 本格導入するのであれば、価格と品質を保証できる能力と地域貢献度までを適性判断して行う、総合評価方式を採用してスタートするべきである。

**副市長** 価格だけでなく多様な要素も考慮し、価格と品質を総合的に評価して、その優れたところと契約をする総合評価方式を採用するには、中立公正な審査機関が必要。十分協議する。

**問** 地域づくりで市内法人の、地域への参加をより図る手立てはあるか。

**建設経済部長** 平成18年から市内法人の従業員30人以上の製造業、そういった事業所と年2回意見交換会を実施している。

行政と企業との情報の共有化を目的として、ごみ減量化の問題、都市計画制度、安全・安心なまちづくりなどに對する協力要請、環境パートナー制度への取り組みなど理解を求めている。

## 行政が過当競争にあおるな

**問** 適正価格での競争であれば良い。有資格者の公平な選択で、広く参加の機会を与えた選定の説明責任を行政は果たすべきだ。

**副市長** 現在は価格優先で決定している。低価格落札で下請業者へしわ寄せが行き、品質の低下を心配する向きは確かにある。



筑後ライオンズクラブによる清掃作業 (市民の森公園周辺)